

# おかげさま

No. 13

文責 校長

厳寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

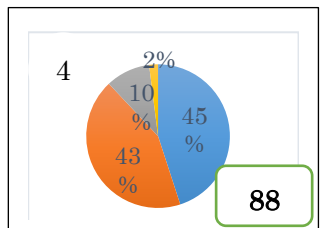
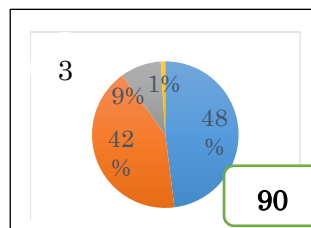
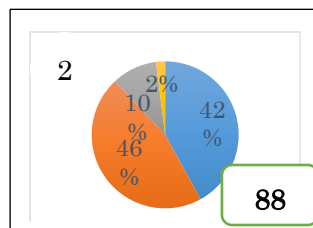
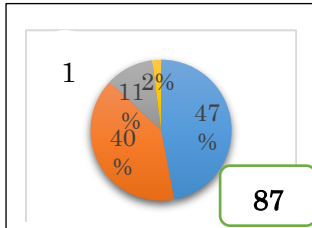
11月末に実施しました学校評価アンケートの結果と考察を掲載しましたのでご覧ください。児童、保護者の皆さまの声を今後の学校運営に活かしてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いします。

## 【令和4年度 学校評価（児童アンケート）の結果と考察】

A+B

○ A:とてもそう思う ■ B:そう思う ■ C:あまりそうは思わない ■ D:そうは思わない

- ①学校に来るのが楽しいですか。 ②わからないことがあったときに、「わからない」と言って友だちに聞いたり自分の考えを伝えたりして、友だちと楽しく勉強していますか。 ③ちがう意見の友だちとも仲良く学習したり楽しく活動したりしていますか。 ④授業は楽しくわかりやすいですか。

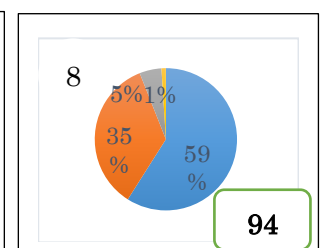
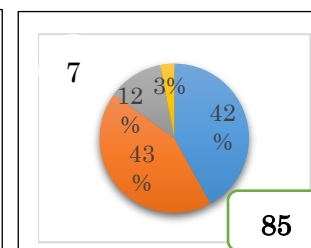
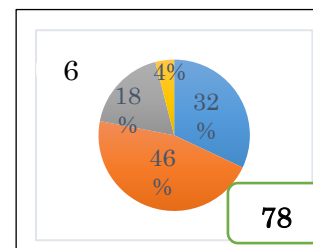
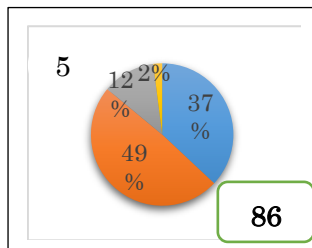


⑤どの活動にもせいっぱい夢中になって取り組んでいますか。

⑥先生や友だちや地域の人に自分から明るくあいさつをしていますか。

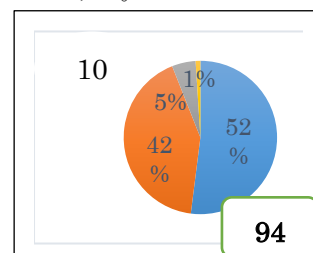
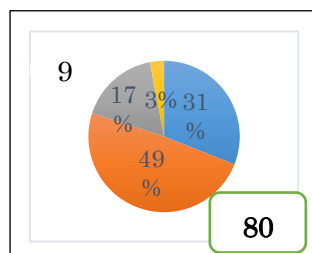
⑦健康に気をつけて生活していますか。

⑧交通ルールなどの決まりを守って、安全に気をつけて登下校していますか。



⑨自分から汚れているところを見つけて掃除ができていますか。

⑩学校生活のきまりや時間を守って生活していますか。



評価規準は「とてもそう思う、そう思う」を肯定的評価とし、「あまりそう思わない、そう思わない」を否定的評価とします。各項目の数値は肯定的評価のパーセントです。

本校の児童は、⑧交通ルールを守ること（94%）や、⑩学校のきまりや時間を守って生活している（94%）という自覚が高いです。また、③友達と仲良く学習をしたり活動を楽しんだりしている（90%）と思われます。

特に①「学校が楽しい」と感じている子どもたちが87%いることは、本校がめざしている「みんなが楽しい学校」への取組の成果と受け止めたいです。しかし、13%の子どもたちが否定的に捉えていることを重く受け止め、さらに改善を図ります。学習状況については、②授業の中でも「わからない」と友だちに伝え、友だちの意見を聴こうとする子どもたち（88%）の姿が見られます。④引き続き、子どもたちが共に考え、いろいろな意見を語り、聴き合いたくなるような（90%）④楽しくわかりやすい授業、学びの充実（88%）に努めてまいります。そうじについては、一生懸命取り組んでいる感触がありますが子どもたちからは80%でした。

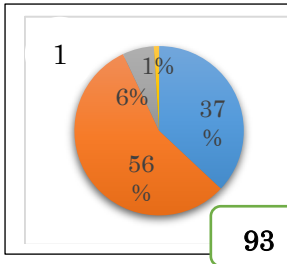
80%を下回ったのは⑥あいさつでした。朝の様子からも二極化が見られます。コロナ禍やマスク生活が影響しているかもしれませんが、目を合わせることができない子どもが若干います。

これらの結果については2月の校長講話で子どもたちと振り返りの時間をとり、みんなで考えます。できていることは続け、改善したいことはがんばろうという気持ちを共有したいと思います。保護者の皆さんにはお子さんから様子を聞いていただけると意欲の喚起、持続につながると思います。

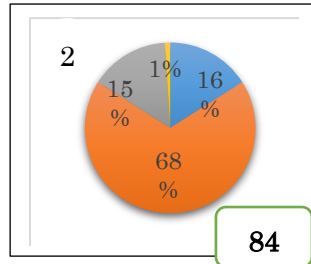
すべての項目が80%近い達成率ではありますが、否定的評価とした子どもたちがいることを受け止め、子どもたちにとって「毎日通いたい学校」であるように努力してまいります。

## 【令和4年度 学校評価（保護者アンケート）の結果と考察】

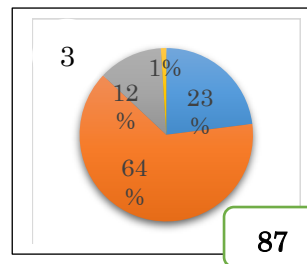
①お子さんは、楽しく学校へ登校しているでしょうか。



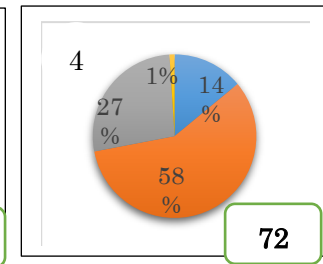
②お子さんは、授業を楽しくわかりやすいと感じ、意欲的に学習に取り組んでいるでしょうか。



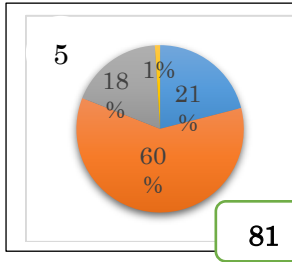
③お子さんは、どの活動にも精一杯夢中になって取り組んでいるでしょうか。



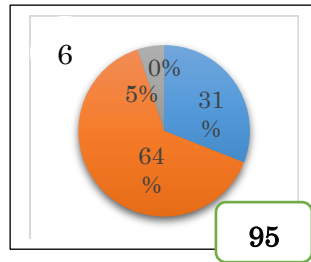
④学校や家庭、地域においてお子さんは、明るくあいさつをしているでしょうか。



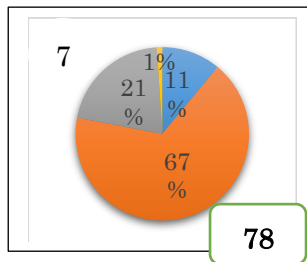
⑤お子さんは、健康に気を付けて生活しているでしょうか。



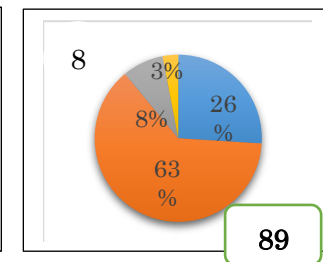
⑥お子さんは交通ルールなどのきまりを守って、安全に気を付けて登下校しているでしょうか。



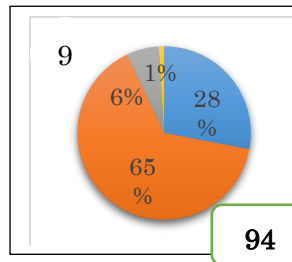
⑦地域の方々が本校のお教育活動に参加しやすい雰囲気になっているでしょうか。



⑧学校職員は、お子さんの話を聞いたり相談にのったりできているでしょうか。



⑨学校だより、学年・学級通信、ホームページや連絡メール等を通して、学校の様子がわかりやすく伝えられているでしょうか。



保護者アンケートも4段階評価とし、「とてもそう思う、そう思う」を肯定的評価、「あまりそう思わない、そう思わない」を否定的評価としました。

⑥「交通安全」⑨「情報発信」①「楽しく登校している」の上位3項目は90%以上の高評価です。交通安全への意識は家庭と学校とで連携して取り組みたいことです。情報発信は今年度HPからの情報発信に力をいれました。来年度もリニューアルしたHPを活用していきます。また、学校だより、学年学級通信、連絡メール等も活用しながら学校と家庭とをつなぐ努力をしていきます。②③授業や活動への取り組みを80%以上の方が肯定的に評価してくださっています。⑧職員が話を聞いたり相談に乗ったりして安心して学びに迎える土台の上で、主体的・協働的な学びのある授業を展開していく努力をしてまいります。

80%に達しなかった⑦「地域の方々の学校参加」や④「あいさつ」については、コロナ禍の影響がでていると思われる。しかし今年度は運動会や音楽会が実施できたことなど、少しずつできることを増やしてきていますので、前向きな雰囲気づくりに努力していきます。それから「あいさつ」については児童アンケートでも78%という評価でした。朝のあいさつの様子からは、声が届く子と小さい声の子もいますが、目が合わない子もいます。保護者からも72%と項目の中では低評価だった「あいさつ」について、心が通い合うためのコミュニケーションスキルとして「あいさつ」を学校、家庭、地域で推進していく必要があることが明らかになりました。

今年度は校長講話の回数を増やし、毎月実施してきました。さらに一人ひとりタブレットを使って感想を校長に返信することをしてきました。子どもたちと職員が同じめざす姿を共有し、みんなで「学校を創る」当事者となって生活してきました。また、コロナ禍でできなかったこともできるようになり、学校本来の目的に向かって活動ができるようになってきたことをうれしく思います。

アンケートの自由記述欄にあったご意見につきましては、校内で検討して改善してまいります。ご指摘いただきありがとうございます。また、励ましや感謝の声もたくさん頂戴して元気が出ました。保護者にとって「通わせたい学校」であるか、地域にとっても「自慢の学校」であるか、子どもたちと職員はもとより、保護者の皆さんも同じ気持ちで誇れる中野小づくりをお願いします。

### 寄附金の申し出がありました

本校と南宮中学校の出身者の方が、匿名で寄附をしてくださいました。120万円を両校で分け、60万円を寄付者の意向に沿って図書館、相談室、保健室に書籍等の必要品を購入する予定で準備しています。本当にありがたいことです。保護者の皆様もご承知おきいただきたいと思います。

